

海外研修 リハビリ学科対象

リハビリ学科:理学療法・作業療法・言語聴覚療法

米国・ロサンゼルス 研修6日間プラン(カスタマイズ可能)

		午前	午後
1	月	日本発 ロサンゼルス着	ロサンゼルス市内観光後 ホテルチェックイン
2	火	研修オリエンテーション 講義① ◆ 米国医療制度概要 ◆ 各医療サービスと患者の流れ (急性期病院、 準急性期病院、専門外来、在宅医療等の連携)	現場視察① ◆ 大手総合病院(急性期) - ICU - 一般病棟 - リハビリ部門(外来リハビリ室) - 療法士による講義 (勤務体制、実際の業務内容、研修制度、他)
3	水	講義② ◆ 米国医療保険制度とマネージドケア - 公的保険制度 - 民間保険制度/マネージドケア ◆ 米国ホームヘルスケア(在宅医療) - 在宅医療でのリハビリ療法士の役割	現場視察② ◆ リハビリ専門病院 - ICU - 一般病棟 - リハビリ部門(成人・小児) - リハビリ技術センター・モデルルーム (先端補助器具の紹介・住宅改造モデルなど) - 療法士による講義 (患者セッションの見学とリハビリ技術の解説、他) - 現地学生との交流会
4	木	講義③ ◆ 理学療法士による講義 - 米国で理学療法士になるための過程 - 職業展開と医療機関での役割 - 業務内容・役割 - 最新テクニックの紹介、症例検討	現場視察③ ◆ 小児専門病院 - リハビリ病棟 - リハビリ療法ルーム - リハビリ部門管理者による講義 (患者・家族への教育、他職種との連携、他) - ソーシャル・ワーカーによる講義 (障害者に対する福祉システム、他)
5	金	◆ UCLA大学 キャンパス見学・自由行動	現場視察④ ◆ UCLA大学病院 - CTICU(心臓胸部部門 ICU) - 一般外科 - リハビリユニット - リハビリ管理者との面談
6	土	終日自由行動	
7	日	終日自由行動	
8	月	講義④ ◆ 作業療法士による講義 - 米国で作業療法士になるための過程 - 職業の展開と医療機関での役割 - 業務内容・役割 - 療法の紹介、症例検討	現場視察⑤ ◆ 外来リハビリテーション施設 - 管理者による講義 (通所リハビリでの療法士の役割、他) - 設備見学、リハビリ機器の紹介
9	火	現場視察⑥・ボランティア ◆ 総合シニアコミュニティ - ナーシングホーム(療養型施設) - 認知症ユニット - 介護施設 - リハビリ部門 - 理学療法士・作業療法士による講義 (脳卒中リハビリ、認知症患者への対応、他)	- 老人学エキスパート(元・看護師)による講義 (シニアとのコミュニケーションのコツ、鬱や不安症などの 精神疾患のサインを見逃さない方法、家族サポート) - ボランティアを通じての異文化交流 ◆ 研修のまとめ、質疑応答 ◆ 米国医療研修 修了書授与
10	水	ホテル チェックアウト ロサンゼルス発	
11	木	日本着	



病院・施設の都合により見学場所が変更になる場合がございます。
 その他要望に応じて講義・視察内容を設定いたします。

ミレニア・エデュケーションのご紹介

医療・福祉研修実績20年以上、過去受講者数 8053名。 2009年東京大学附属病院、2012年山口大学附属病院・大分附属病院が選択した海外研修先。 米国ヘルスケアにおいて、在宅医療・介護サービス提供社として20年以上の臨床活動とネットワークを活用。 事前のニーズ把握から日米医療システムの比較解説、現場通訳までのトータルコーディネートにより、高度な専門性と高い満足度を保証。

海外研修 リハビリ学科対象

米国・ロサンゼルス 研修6日間プラン(カスタマイズ可能)



アメリカでリハビリ研修を行うメリットは？

＝理学・作業・言語療法等の療法士になるには修士号取得が必要。高度な知識を持った療法士の活躍現場を体感！

✓ 医師とパートナー関係を保つ療法士

医師が病院に常駐しないアメリカでは、日常の身体機能アセスメントなど療法士に任せられる範囲が広く、医師のパートナーとして活躍しています。

✓ リハビリ療法のリサーチが進んでいる

特に脳損傷・脊椎損傷などのリハビリ医学のリサーチで世界的に有名なアメリカ。これらの最新技術の現場活用場面を視察できます。

生の声を聴き、仕事の喜び・大変さ、充実感をしっかり感じとる事ができます。

》 研修プログラムのメリット

全米でベスト10に入る国立リハビリテーションセンターの現場視察。最先端のリハビリ機器の紹介から、実際の患者セッションの見学までじっくり体験する事ができる。

理学療法士・作業療法士・言語療法士による講義。日本語の講義資料を用意しますので、実際の業務内容・一日の流れなどがよく理解でき、ディスカッションの時間もたっぷり。

ナーシングホームで患者様に対するボランティアや、病院内でのリハビリ学生との交流を通し、異文化交流ができる。英語に自信がなくても、現地日本人スタッフがしっかりサポートするので安心。

病院視察の前に、米国と日本の病院の比較、医療保険制度などのバックグラウンドを日本語でしっかり予習、現場スタッフの話がよく理解できる。通訳もとても分かりやすいと評判。

予算とニーズに合わせて、日程や研修内容を自由にアレンジ可能。
研修終了後には、米国リハビリ研修修了書がもらえます。

学生の感想

研修を通して、自分の目指す医療従事者のイメージが明確になったように感じる。また、現場スタッフの話をたくさん聞いて、通常では学べない事を多く吸収できたし、励みにもなった。これから、もっと真剣に勉強して必ず質の高いサービスが提供できる療法士になりたい。



》 研修内容のお問い合わせ

ミレニア・エデュケーション

Millennia Holdings, Inc.

3731 Wilshire Blvd. Suite#900

Los Angeles, CA 90010, USA

Tel: 国番号+1(213)252-1230

E-mail: info@iryu-kenshu.com

(日本語での対応可)

URL: www.iryu-kenshu.com

担当: 河内、松本